



# 東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2024年7月20日発行

第44号(通巻第320号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

## JR東日本労働組合 新潟地方本部 第13回定期大会



2024年7月29日(月)  
12時30分より  
新潟市 万代市民会館

# 昨冬期を振り返り今冬期に活かそう

## 申24号・2023年度冬期検証に関する申し入れ

2023年度の冬期は、暖冬少雪傾向であったものの、架線凍結による列車の運休・遅延や、雪や低温に起因する新潟30km圏での運転見合わせなどが発生しました。

また、ホーム除雪に関わる課題も浮き彫りになるなど、お客さまへご不便やご迷惑をおかけする事象が発生しました。

冬期間における安全・安定輸送の確保や、質の高いサービス提供のためには、現業・非現業を問わず奮闘してきた組合員・社員の声に基づいて振り返りを行うことが必要です。

労使の議論を通じて次期冬期に向けた課題を鮮明にするため、新潟地本は7月4日、申24号・2023年度冬期検証に関する申し入れを提出しました。

■申24号 申入れ項目  
1. 12月1日～3月31日まで只見線のホーム除雪体制をとること。

2. 石打く岩原スキー場前間になだれ防止柵を設置すること。  
3. 長岡駅南部留置については12月1日～3月31日まで全ての車両を庫内留置及び冬期体制をとすこと。

4. E653系水管凍結対策の効果について明らかにすること。  
5. 始発までホームの除雪を徹底すること。  
6. 越後線柏崎く吉田間において発生した架線凍結による集電不良に対する対策と課題を明らかにすること。

7. 2024年2月17日(土)臨回電、回9121Mと回9122Mを運行させた理由を明らかにすること。  
8. 羽越線羽前大山く羽前水沢間下興屋踏切における消雪設備の復旧を行うこと。

9. 2024年2月17日(土)臨回電、回9121Mと回9122Mを運行させた理由を明らかにすること。

10. 2024年2月17日(土)臨回電、回9121Mと回9122Mを運行させた理由を明らかにすること。

JR東日本は2021年の定例社長会見において、当面の間は現在の窓口数維持するとともに首都圏では繁忙期において閉鎖された窓口を臨時窓口として営業することが発表されました。

新潟地本はこの間、駅から70駅程度にまで削減する計画に基づき、新潟支社において迅速に「みどりの窓口」の廃止が進められるとともに、新たに「話せる指定席券売機」が導入されてきました。

そのような中で今年5

## 新潟の実情にあった 営業体制を求める

申26号 新潟支社における駅の販売体制に関する申し入れ

1. お客さまのご利用状況に合わせた販売体制を構築すること。  
2. 長岡駅の「みどりの窓口」を二窓とすること。  
3. 「みどりの窓口」再開に伴う駅社員の増員をすること。  
4. 駅での営業知識の習得・復習の機会を保障すること。  
5. 「駅たびコンシェルジュ」において乗車券類の発売を行うこと。  
6. 指定席券売機が複数設置されている駅に案内要員を配置すること。  
7. 「話せる指定席券売機」の増員をすること。  
8. 新潟支社のSuicaエリアを拡大し、エリア内全駅にSuica対応設備を設置すること。  
9. 団体乗車券・特定席予約・レンタカー券をネットにて一括管理し、駅での発売・払戻を行わないこと。



新潟地本は7月4日、申26号・新潟支社における駅の販売体制に関する申し入れを提出しました。

東日本ユニオン結成10年  
働きがいを得るJR東日本と  
安心を得る社会をつくらう!

JR東日本労働組合  
第13回定期大会



中央本部は7月9日、新潟市の万代市民会館において第13回定期大会を開催しました。

構成員・傍聴者など合わせて150名を超える組合員が結集して、一年間の取り組みを振り返るとともに、向こう一年間の方針を決定しました。

東日本ユニオンの結成から10年を迎える大会であることから、オープニングとして結成以降の歩みを振り返るムービーが放映されました。

また藤本中央執行委員

議長には新潟地本選出の吉原代議員を選出し、スムーズな議事進行により大会が進みました。

各代議員からはこの1年間の職場からの取り組みについて発言があり、東日本ユニオンの全組合員で運動を推し進め、組織を強化・拡大してきたことを確認しました。

提案された議案はすべて満場一致で承認され、とともに、新たな執行体制が確立されました。